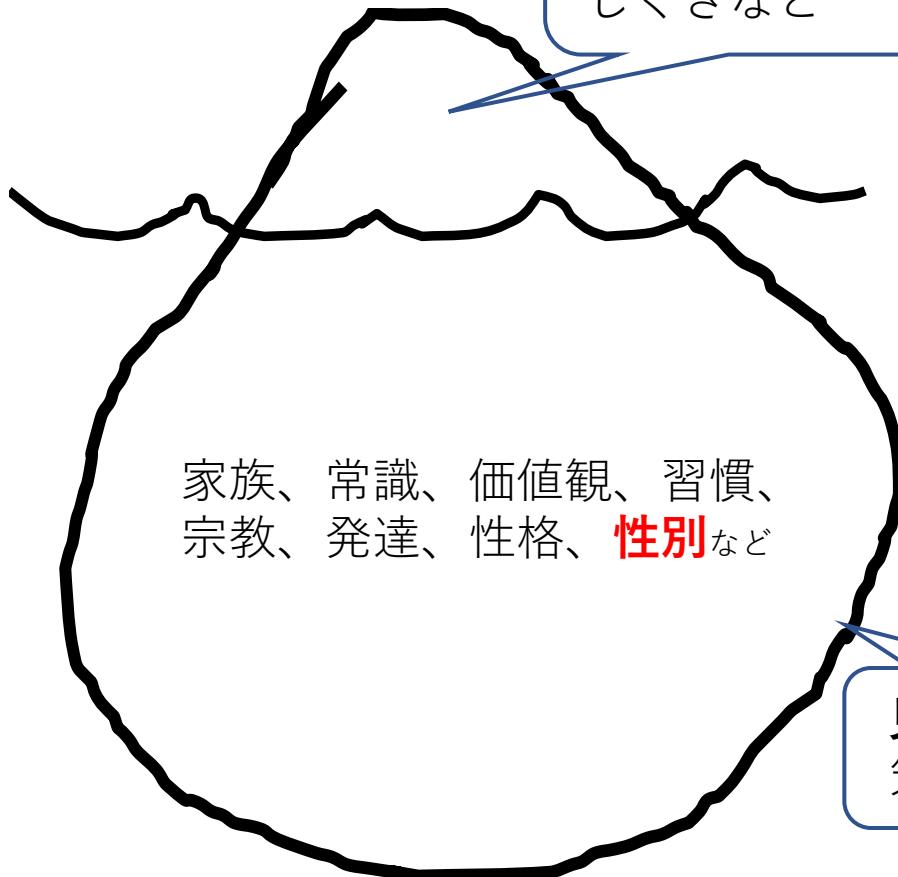
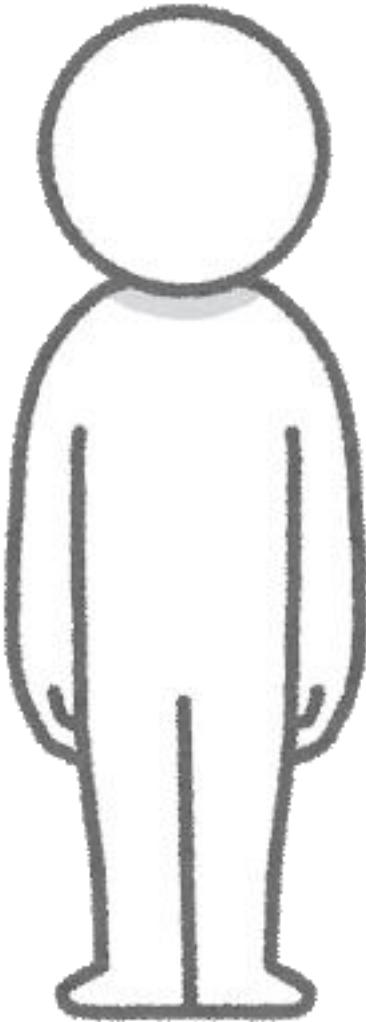


# 子どもの多様性の理解

2021.11.07



NPO法人チャイルドライン支援センター  
高橋弘恵



見えている部分  
身長、表情、声、  
しぐさなど

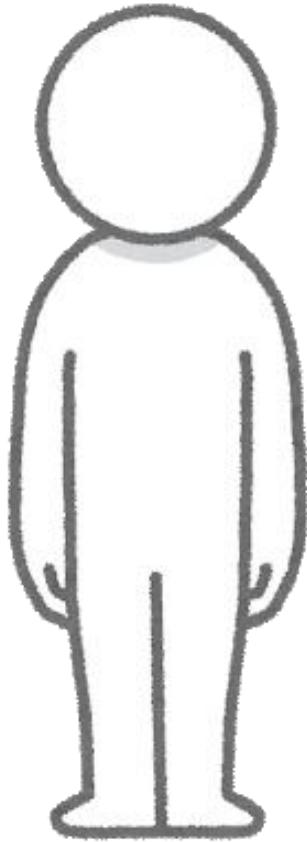
家族、常識、価値観、習慣、  
宗教、発達、性格、**性別**など

見えない部分  
気持ち、背景

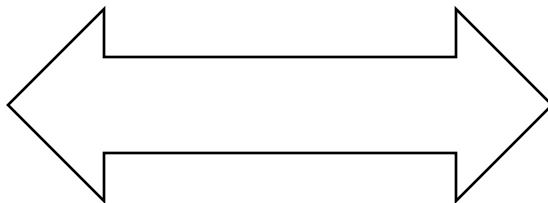
- ・ バーバルコミュニケーション  
(言語コミュニケーション)  
**言語情報** · · · 5%

- ・ ノンバーバルコミュニケーション  
(非言語コミュニケーション)  
**視覚情報** · · · 55%  
**聴覚情報** · · · 38% } 93%

見えない部分は言語化して話してもらわないとわからない



家族、常識、価値観、習慣、  
宗教、発達、性別、性格など



家族、常識、価値観、習慣、  
宗教、発達、性別、性格など

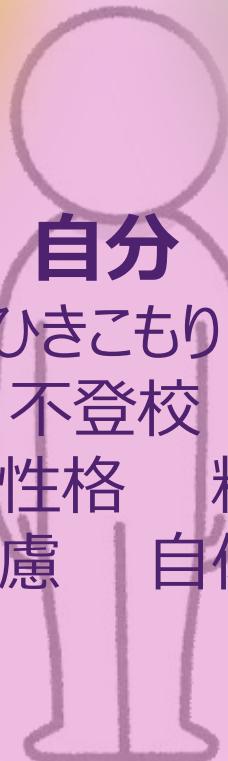
## 地域

人間関係  
成績  
性暴力

## 学校

いじめ 恋愛  
部活 体罰  
校則 進路

孤独 ひきこもり 発達  
非行 不登校 容姿  
障がい 性格 精神疾患  
希死念慮 自傷行為

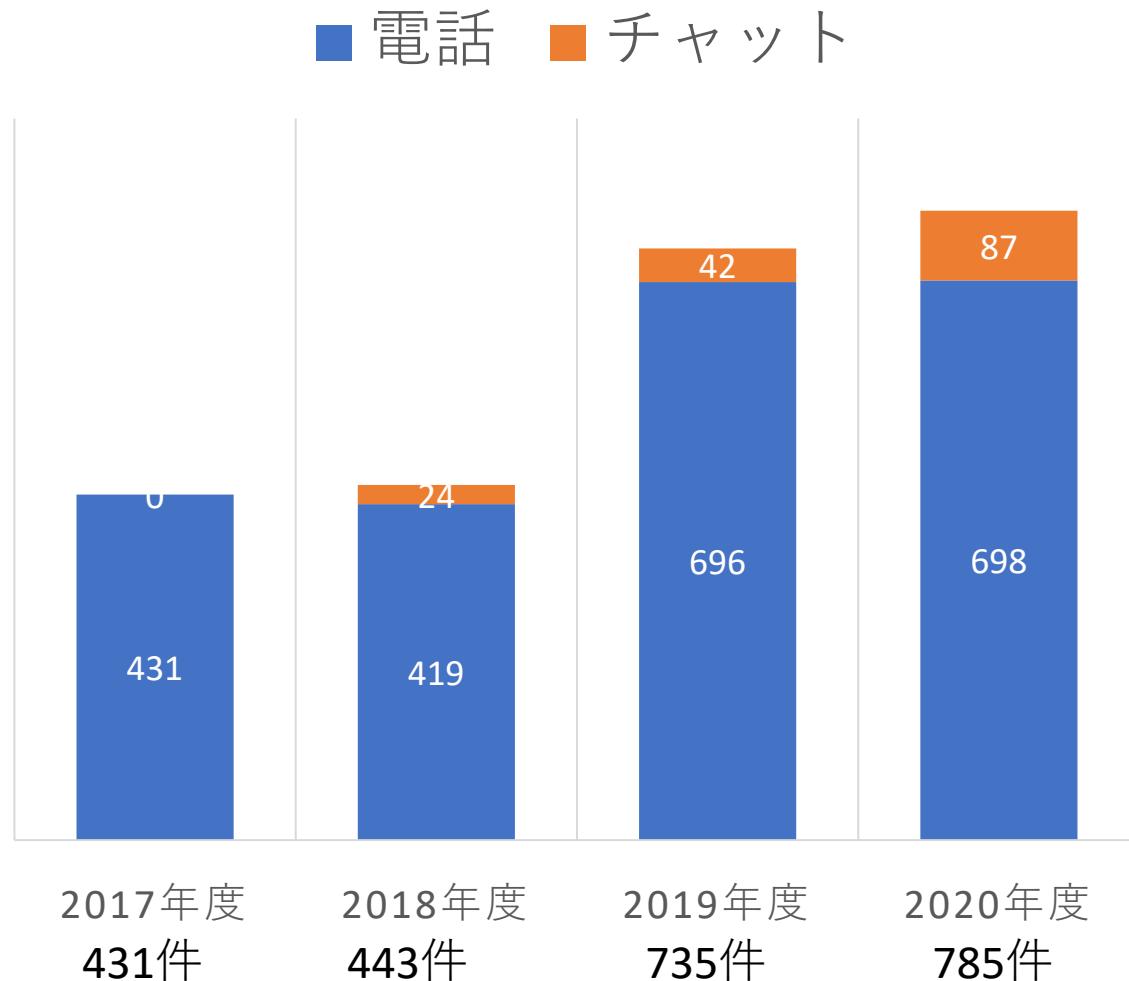


## 家庭

虐待 兄弟からの暴力  
貧困 ヤングケアラー  
親の精神疾患 ひとり親  
国籍

## SNS

# チャイルドラインに入る「性の多様性」



チャイルドラインは匿名性尊重をスタンスとしているため、同じ子どもが複数回アクセスしている場合があることに留意が必要



チャイルドライン支援センターのHPに『つぶやく』という書き込むだけのページを設置したところ「性の多様性」に関しての書き込み割合が電話やチャットよりも多くなっていることが分かった。

# 多様な性

L レズビアン

G ゲイ

B バイセクシュアル

T トランスジェンダー

Q クエスチョニング

I インターセックス

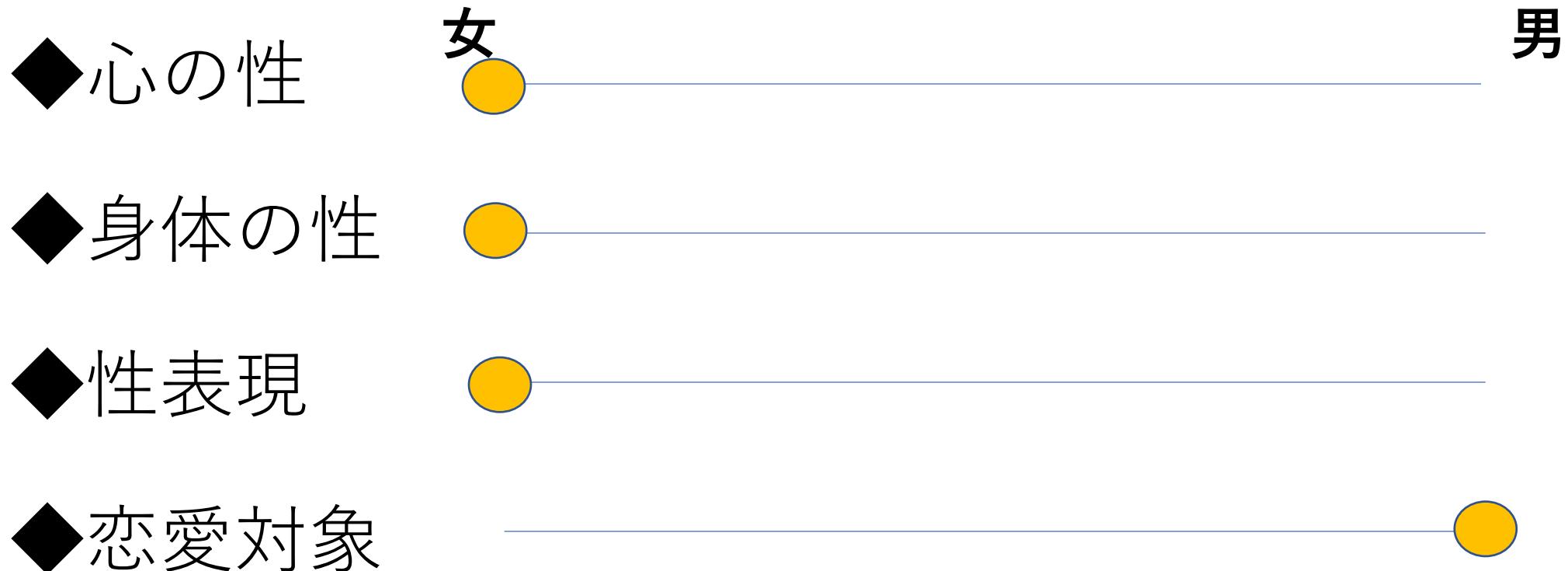
A アセクシュアル

他にXジェンダー、パンセクシャル、ポリアモリー 等々

ヘテロセクシュアル（異性愛者）



# 性別の決定要素



# 性別の決定要素



# 性別の決定要素

◆心の性

女

ゲイ

男

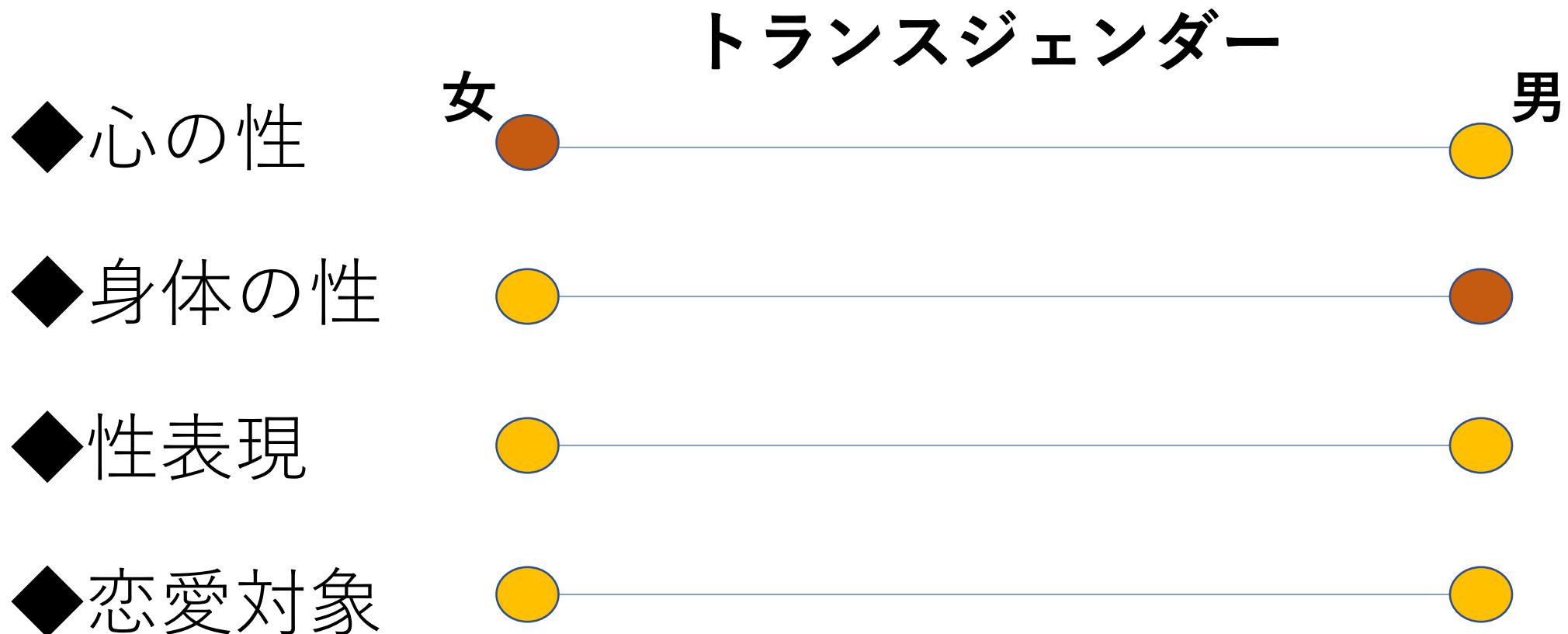
◆身体の性

◆性表現

◆恋愛対象



# 性別の決定要素



# 性別の決定要素



SOGIEというとらえ方

**Sexual Orientation** (性指向)

**Gender Identity** (性自認)

**Sexual Expression** (性表現)

体の性がどうであれ、すべての人の個々のセクシャリティの在り方がどうかという概念、尺度

「LGBTQ+」はマイノリティに対する分類

性の情報はどんどん更新されている

アドボケイトに必要なのはどんなあなたもそのまでOKという人権意識と専門家ではないという自覚、そして学び続ける気持ち

# アライ/ALLY の存在

「味方」「仲間」「同盟」の意

セクシャルマイノリティの理解者に対して使われてきたが、最近はその他のマイノリティに対しても使われる

子どもアドボケイトは子どものALLYであると言えるが、マイノリティに限らずどの人にもALLYは必要